

■ 都市機能を誘導するエリアと都市拠点・地域拠点のイメージ (都市機能誘導区域(素案)と市街化調整区域の地域拠点の範囲イメージ)

【市街化区域】

 都市機能誘導区域(素案)

→ H28年度末に設定

【市街化調整区域】

 地域拠点の範囲イメージ

→ H28年度末に素案作成

■ 都市拠点のイメージ(中心市街地)

本市全体かつ広域都市圏の中心拠点として、広域的な公共交通の結節点が存在し、既に多様な都市機能が集積しているエリア



◇ 誘導施設(都市機能)の例
総合病院、ショッピングセンター、銀行等の本支店、大学、高校、小・中学校、保育所等、文化センター、駅、バスターミナル、国・県等の行政機関、市役所 など

■ 市街化区域の地域拠点のイメージ(鉄道駅・LRT停留場(公共交通結節点)周辺など)

地域の中心拠点として、鉄道駅周辺などに都市機能が既に一定程度集積し、日常的なサービスを効率的に提供できるエリア



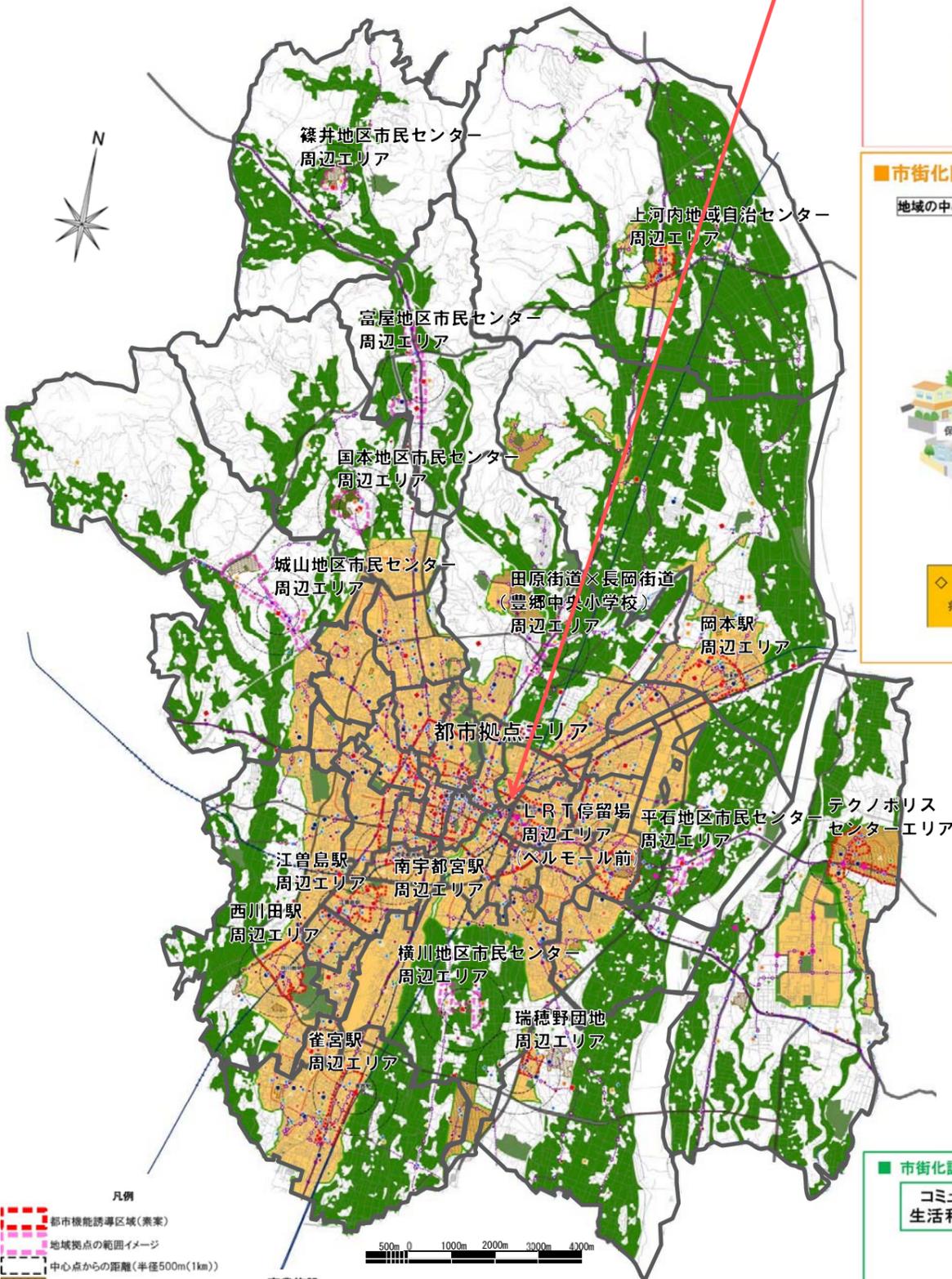
◇ 誘導施設(都市機能)の例
病院、スーパーマーケット、銀行等の支店・出張所、小・中学校、保育所等、駅、市役所支所・出張所 など

■ 市街化調整区域の地域拠点のイメージ ※地区市民センター周辺など

コミュニティの中心となる地域の拠点として、日常生活に必要な店舗や診療所などの生活利便施設を確保するエリア



◇ 誘導施設(都市機能)の例
診療所、コンビニエンスストア、郵便局や銀行の出張所、小学校、保育所等、バス停、市の出張所 など



- 凡例
- 都市機能誘導区域(素案)
 - 地域拠点の範囲イメージ
 - 中心点からの距離(半径500m(1km))
 - 地区計画
 - 公園・緑地
 - 農振農用地
 - 医療施設
 - 病院
 - 診療所・クリニック・医院
 - 歯科
 - 福祉施設
 - 介護保険サービス提供施設(地域密着型)
 - 子育て施設
 - 保育所
 - 幼稚園
 - 認定こども園
 - 学校施設
 - 中学校
 - 小学校
 - 商業施設
 - スーパー
 - コンビニ
 - 公共公益施設
 - 市役所・支所
 - 銀行・信用金庫
 - 郵便局
 - 区域区分
 - 地域行政機関の所管エリア
 - 都市計画道路(未供用・事業中区間)
 - LRT電停
 - LRT路線
 - バス停(片道30本/日以上)
 - バス停(片道30本/日未満)
 - バス路線
 - 鉄道
 - 環状・放射道路等

宇都宮市が目指す将来の姿 「ネットワーク型コンパクトシティ」 具体化のための計画づくりについて

住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA



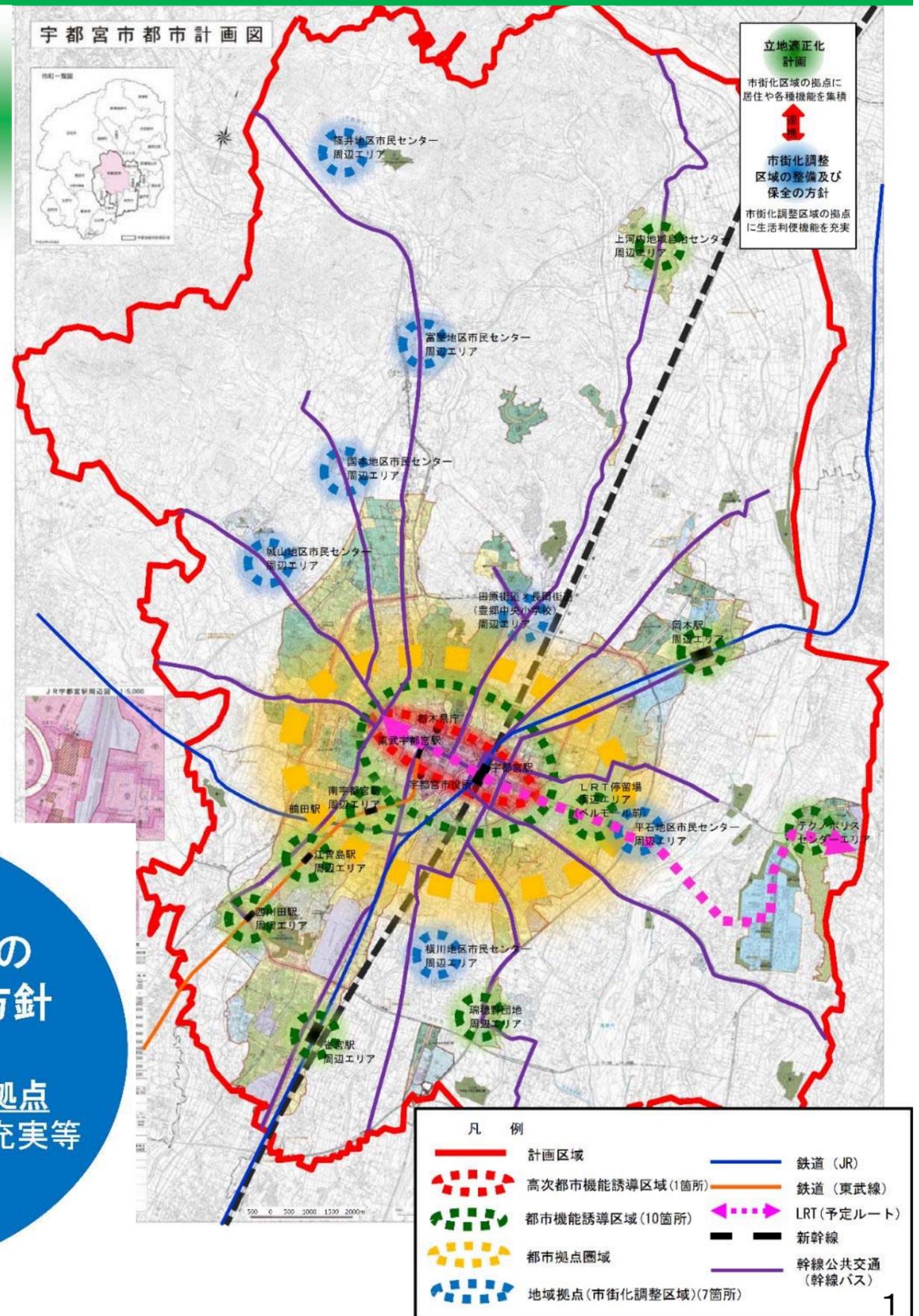
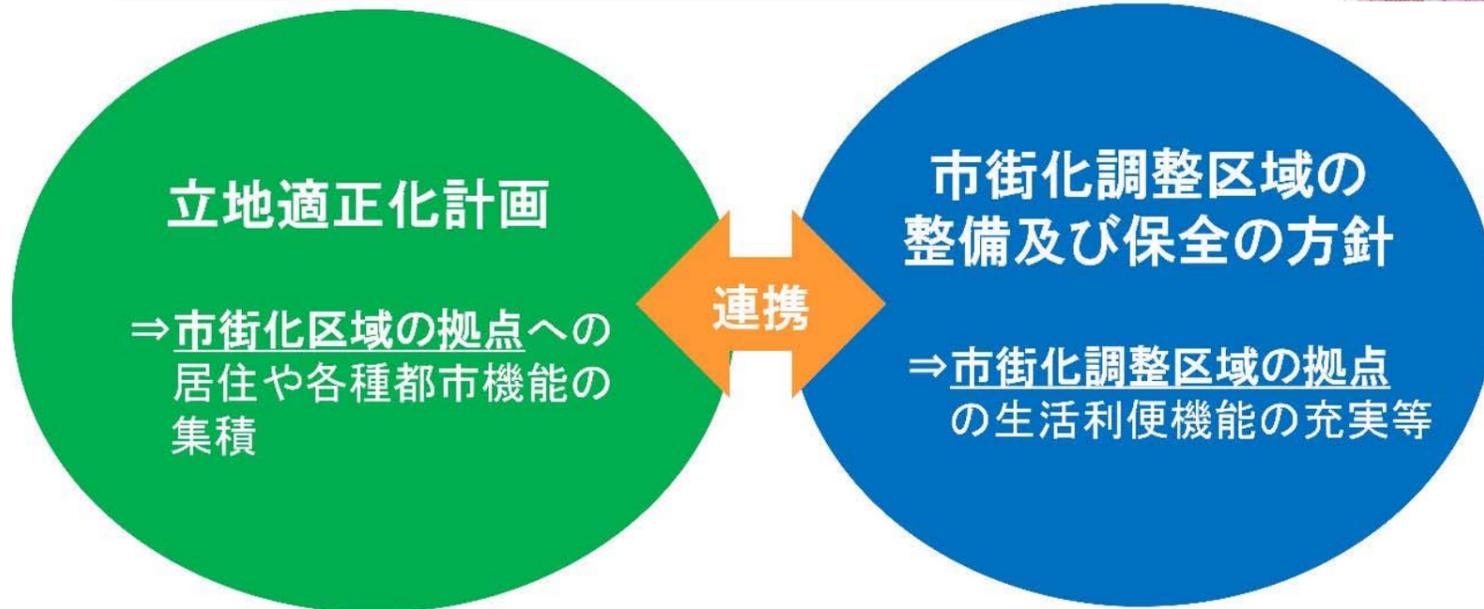
市制120周年・市町合併10周年
120年の感謝と絆 ともに未来を考え
いつまでも輝く うつのみや
UTSUNOMIYA CITY 2016

宇都宮市における拠点形成(コンパクトシティ)の取組

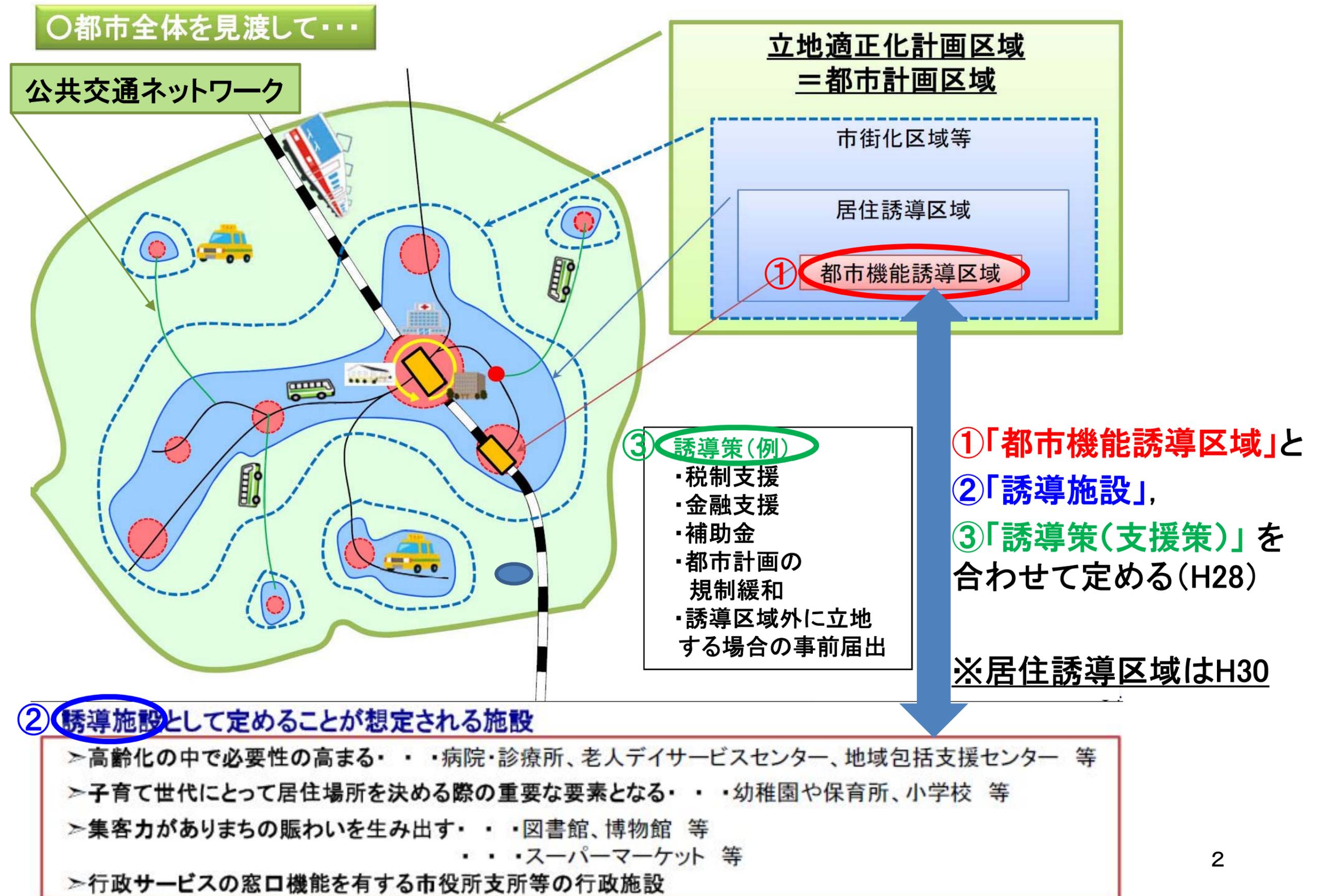
◆街なかだけでなく郊外部の
拠点の維持・発展も目指した
まちづくり

「ネットワーク型コンパクトシティ」の実現に
は都市全体を見渡した都市づくりが重要

⇒主に市街化区域を対象とする「立地適正化計画」と合わせて、「市街化調整区域の整備及び保全の方針」を作成し、周辺部を含めた拠点形成や居住環境の維持・向上などに一体的に取り組む



【参考】立地適正化計画の概要(主に市街化区域)



宇都宮市における拠点形成(コンパクトシティ)の取組

◆都市機能誘導区域の配置の考え方(H28に設定)

- ① 市街化区域の拠点(中心市街地や, 身近な地域の拠点)
- ② 鉄道駅やLRT停留場など基幹公共交通の結節点

区分	配置するエリア	拠点の中心の目安
都市拠点	①都市拠点エリア	中心市街地
都市拠点圏域	(内環状線の内側)	
	②南宇都宮駅周辺エリア	南宇都宮駅
	③LRT停留場周辺エリア(ベルモール前)	LRT停留場(ベルモール前)
地域拠点 (市街化区域)	④岡本駅周辺エリア	岡本駅
	⑤江曾島駅周辺エリア	江曾島駅
	⑥西川田駅周辺エリア	西川田駅
	⑦雀宮駅周辺エリア	雀宮駅
	⑧テクノポリスセンターエリア	鬼怒通り×清原中央通り付近
	⑨瑞穂野団地周辺エリア	新4号国道×みずほの団地入口付近
	⑩上河内地域自治センター周辺エリア	上河内地域自治センター

宇都宮市における拠点形成(コンパクトシティ)の取組

□市街化調整区域の土地利用

・地域特性に応じた土地利用方針検討

⇒路線バスや地域内交通により地域拠点との連携による

市街化調整区域の**既存集落等のコミュニティ維持**

⇒貴重な**自然環境**や**田・畑**、**山林**など**農業生産基盤の保全**



「地域拠点」を中心とした持続性の高いまちづくり

地域特性に応じた郊外部地域の土地利用方針を検討

市街化調整区域の整備及び保全の方針改定

【市街化調整区域の整備及び保全の方針とは】

- 平成15年に市街化調整区域の自然環境等の保全・創出を図るため、将来の土地利用方針を明らかにしたもの
- 方針を踏まえ都市計画制度(開発許可など)を適正運用

【市街化調整区域とは】

貴重な自然や農業生産基盤(田・畑など)の保全・創出を図る区域として、無秩序な土地利用の転換(開発)を抑制する区域

宇都宮市における拠点形成(コンパクトシティ)の取組

◆地域拠点(市街化調整区域)の配置の考え方

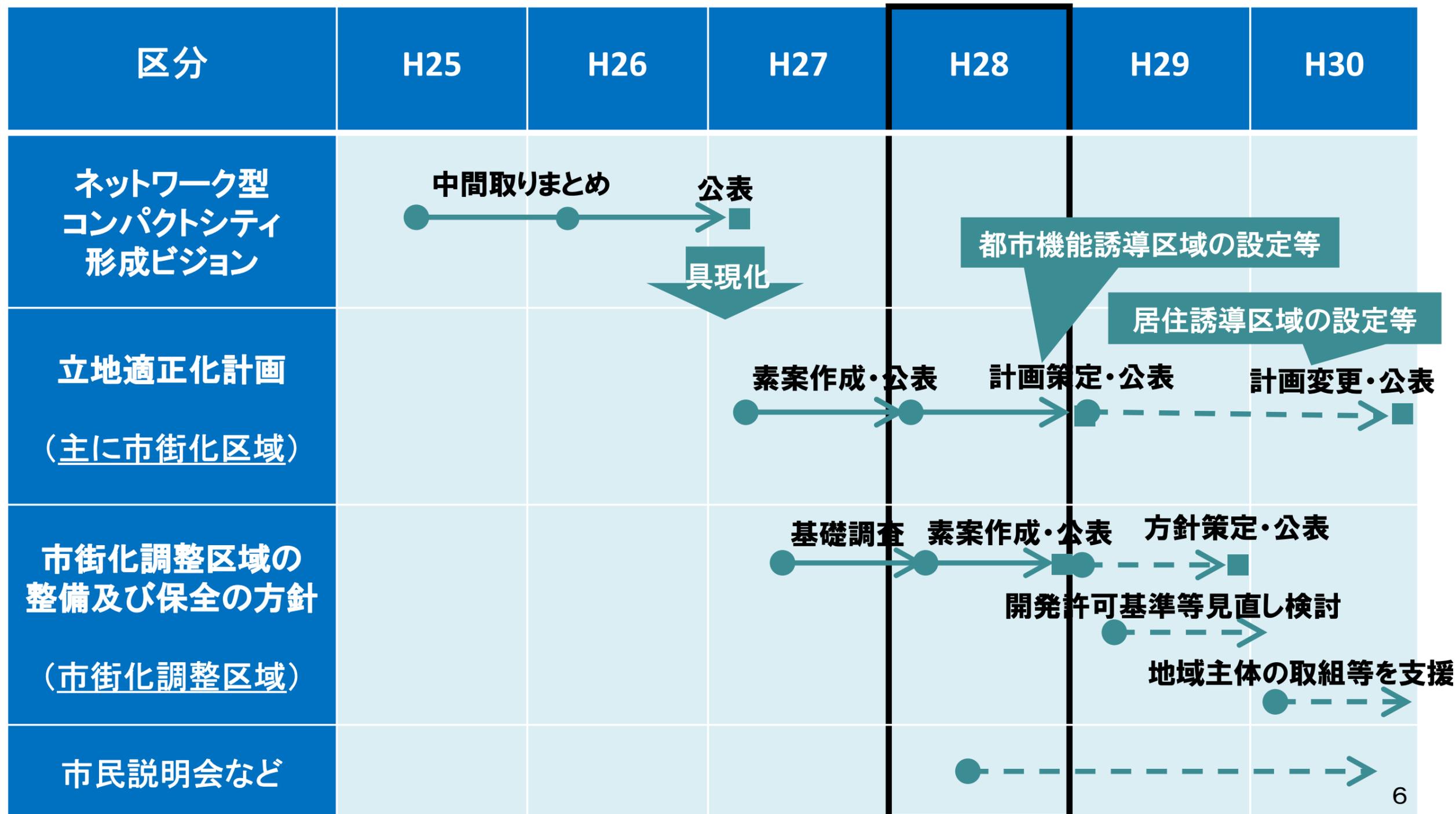
日常生活を支える地域拠点をこれまでの集落の成り立ち等を踏まえた場所に配置

区分	配置するエリア	拠点の中心の目安
主要な幹線道路等の結節点	①田原街道×長岡街道(豊郷中央小)周辺エリア	田原街道×長岡街道(豊郷中央小)
地域におけるコミュニティ施設	②篠井地区市民センター周辺エリア	篠井地区市民センター
	③富屋地区市民センター周辺エリア	富屋地区市民センター
	④国本地区市民センター周辺エリア	国本地区市民センター
	⑤城山地区市民センター周辺エリア	城山地区市民センター
	⑥平石地区市民センター周辺エリア	平石地区市民センター
	⑦横川地区市民センター周辺エリア	横川地区市民センター

今後の取組

◆全体スケジュール

市民説明会などを通して丁寧な説明を行い理解を得ながら段階的に策定



全国から選ばれる
「交通未来都市 うつのみや」
を目指して
(第1回取りまとめ)

平成28年8月

宇都宮市

目 次

1	策定趣旨	1
2	目指すべきもの	2
3	生活シーンのイメージ化	4
4	取組方針	10
5	具体的な施策・事業	11
①	保健・福祉分野	11
②	子育て・子育て分野	11
③	教育・文化・スポーツ分野	12
④	産業・観光分野	13
⑤	都市基盤分野	14
⑥	環境分野	16
⑦	安全・安心分野	16
⑧	L R Tの利用促進分野	17
6	L R T利活用方策の着実な推進に向けて	18

1 策定趣旨

本市では、今後、本格化する少子・超高齢化、人口減少社会においても、人や企業から選ばれ、将来にわたり持続的に発展し続けることができるよう、これからの人口規模・構造や都市活動に対応した都市の姿である「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成に取り組んでいます。

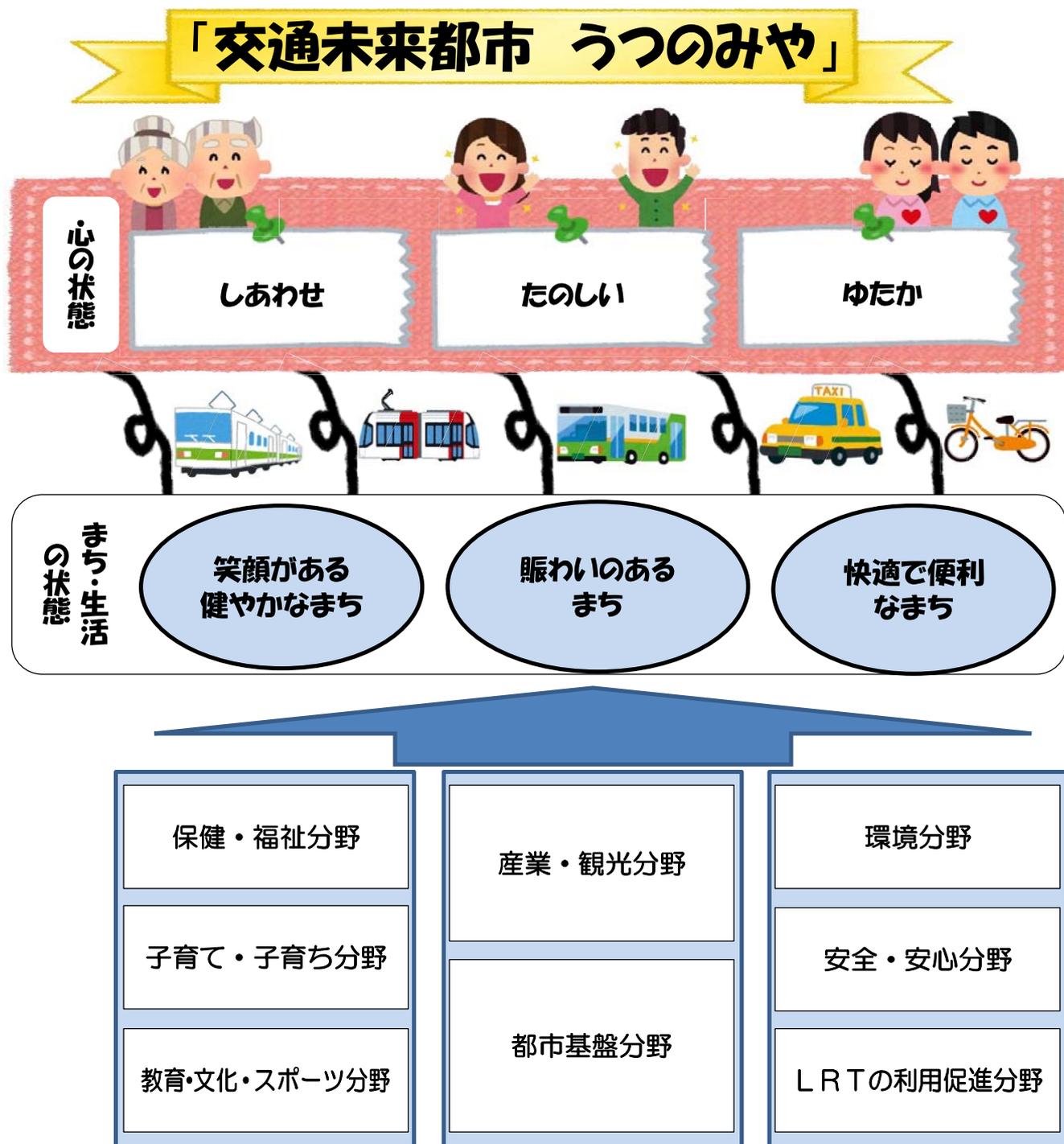
この「ネットワーク型コンパクトシティ」は、中心市街地に圏域全体の成長を牽引する「都市拠点」をはじめ、住民の身近な場所に医療や商業などの日常生活に必要な機能を備える「地域拠点」や、本市の産業や観光の拠点となる「産業拠点」・「観光拠点」を形成し、その拠点間を、鉄道・L R T・バス・地域内交通・自転車などの階層性のある総合的な交通ネットワークで結ぶことにより、それぞれの拠点が光り輝きながら発展できるまちを目指すものです。

このような中、今年度から着工するL R Tは、総合的な交通ネットワークの基軸となる事業であり、L R Tの導入によって、本市のまちの構造が大きく変化し、市民の生活様式や企業活動にも様々な効果をもたらすことが見込まれております。

このため、L R T整備を契機として、公共交通のさらなる利用促進を図るとともに、L R T整備による産業活動や経済の活性化、交流人口の増加などの効果を最大限に高め、本市の魅力あるまちづくりに資するよう、L R Tを核とする利活用方策を取りまとめるものであります。

2 目指すべきもの

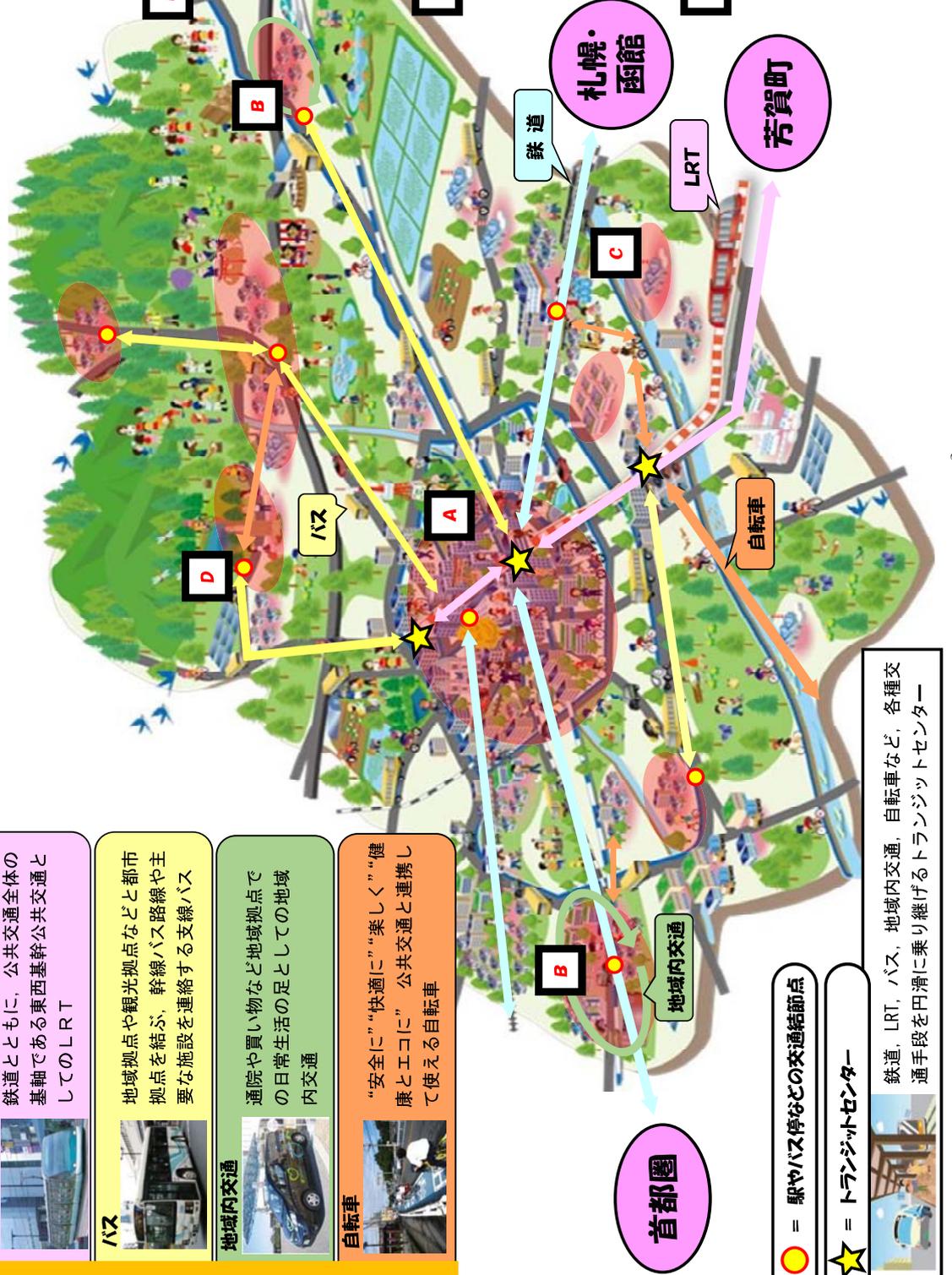
LRT整備を契機にLRTを軸とした公共交通の一体的な利活用に取り組むことで、鉄道、LRT、バス、地域内交通、自転車などの多様な交通手段による総合的な交通ネットワークにより、環境に優しく、子どもから高齢者、障がい者など、誰もが安全で快適に移動ができ、外出によって健康が増進され、人や企業、コミュニティなどの活動や交流が活性化される「交通未来都市 うつのみや」の実現に資することを目指します。



2050年頃の交通未来都市つつのみやのイメージ

階層性のある総合的な交通ネットワーク

- 鉄道**
南北の基幹公共交通として、都市拠点と南北の地域をつなぐ鉄道
- LRT**
鉄道とともに、公共交通全体の基幹である東西基幹公共交通としてのLRT
- バス**
地域拠点や観光拠点などと都市拠点を結ぶ、幹線バス路線や主要な施設を連絡する支線バス
- 地域内交通**
通院や買い物など地域拠点での日常生活の足としての地域内交通
- 自転車**
“安全に”“快適に”“楽しく”“健康とエコに”公共交通と連携して使える自転車



A [都市拠点]
都市の活力を牽引し、まちなかの賑わい創出につながる高次で多様な機能を備えた地域

B [地域拠点]
日常生活に必要な医療や商業などのサービスや機能を備えた地域

C [産業拠点]
高度な産業や研究開発機能などが集積した地域

D [観光拠点]
歴史や伝統・文化、自然など、本市独自の観光資源を有した地域

● = 駅やバス停などの交通結節点
★ = トランジットセンター

鉄道、LRT、バス、地域内交通、自転車など、各種交通手段を円滑に乗り継げるトランジットセンター

3 生活シーンのイメージ化

LR Tの開業時に、これまでの生活がどのように変わるのか、6つの生活シーンをイメージとして示すことで、市民、企業、事業者等と今後のまちのイメージの共有化を図ります。

➤ 子育て・子育て世帯

市内在住のAさん一家

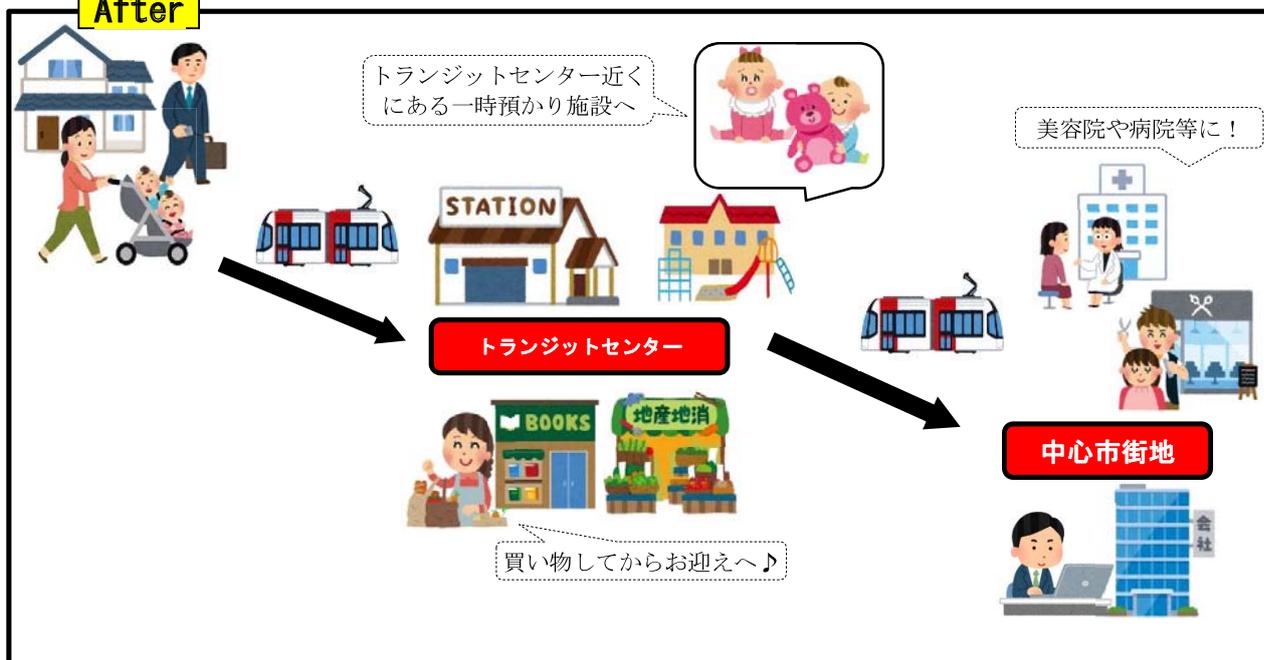
- ・Aさん（30代男性、中心市街地にある会社に勤務）
- ・Bさん（30代女性、主婦）
- ・Cくん（保育所に通っていない男の子）
- ・Dちゃん（保育所に通っていない女の子）

Before



利用する公共交通の沿線に子どもを預けられる施設がないので、美容院や病院等になかなか行くことができない。

After



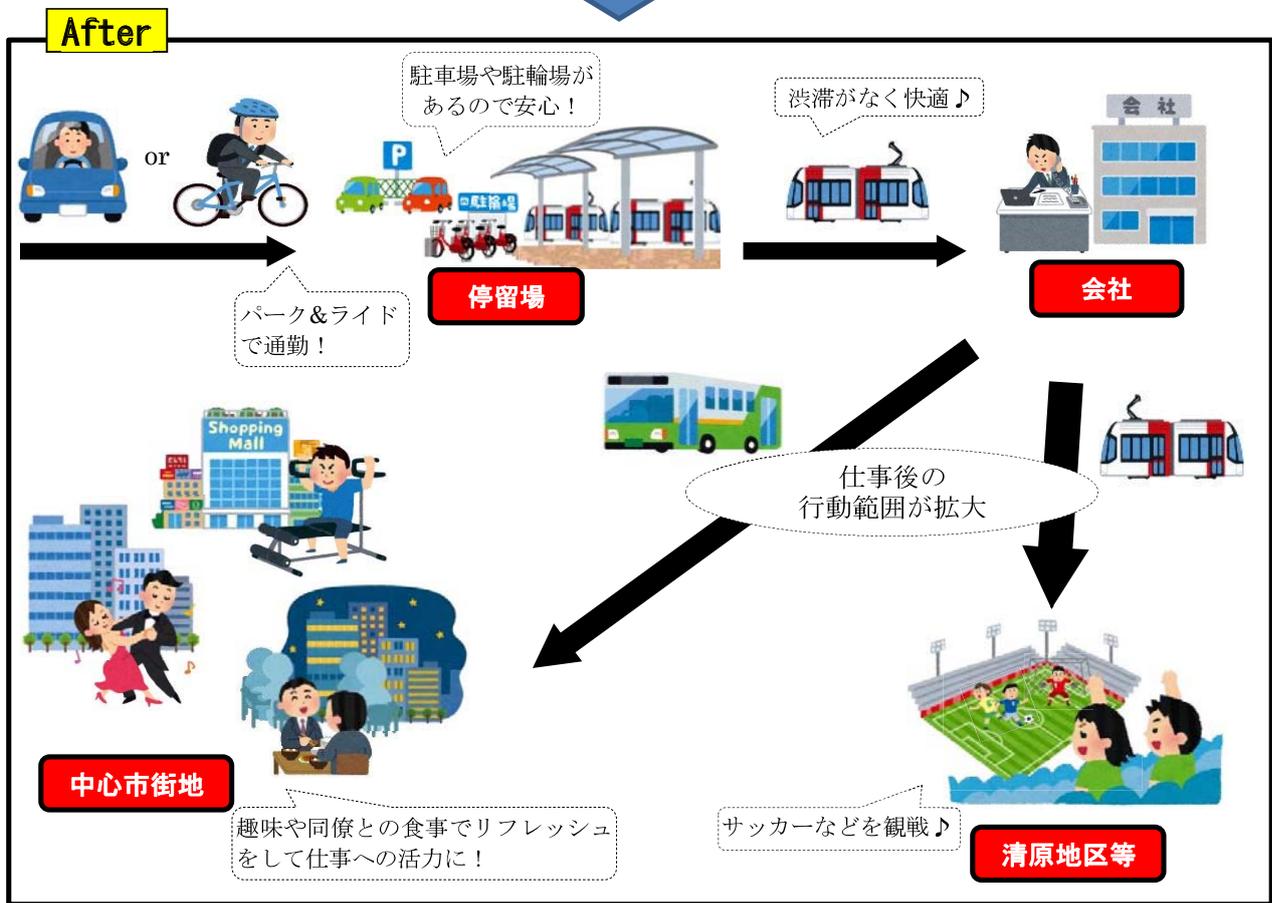
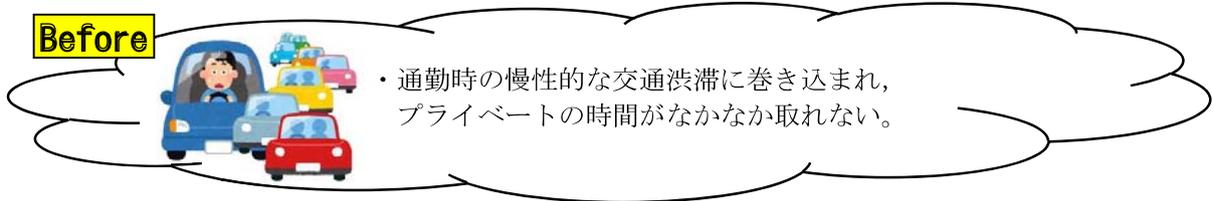
【日常生活のイメージ】

※ ・・・施策事業の取組例

- ✓ 新設された一時預かり施設に預けたり、トランジットセンターにある「赤ちゃんの駅」で、いつでもおむつ交換することができるため、安心して外出できている。
- ✓ 帰宅時も、近くの店舗で夕食の材料を購入してからお迎えにいけるため、便利にくつもの用件を済ませることができている。

➤ 通勤者

市内企業に勤めるEさん
 ・Eさん（30代男性 工業団地に勤務）



【日常生活のイメージ】

※ ・・・施策事業の取組例

- ✓ 停留場に設置してある駐車場・駐輪場に車や自転車を止め、 ICカードを利用して便利で快適にLRTに乗車できている。
- ✓ LRTの利用により有効的に使える時間が増え、仕事帰りには同僚との夕食などを楽しんでいる。

➤ 高齢者・障がい者

市内在住のFさん夫婦
 ・Fさん（80代男性）
 ・Gさん（80代女性 障がいがあり、車いすを利用）

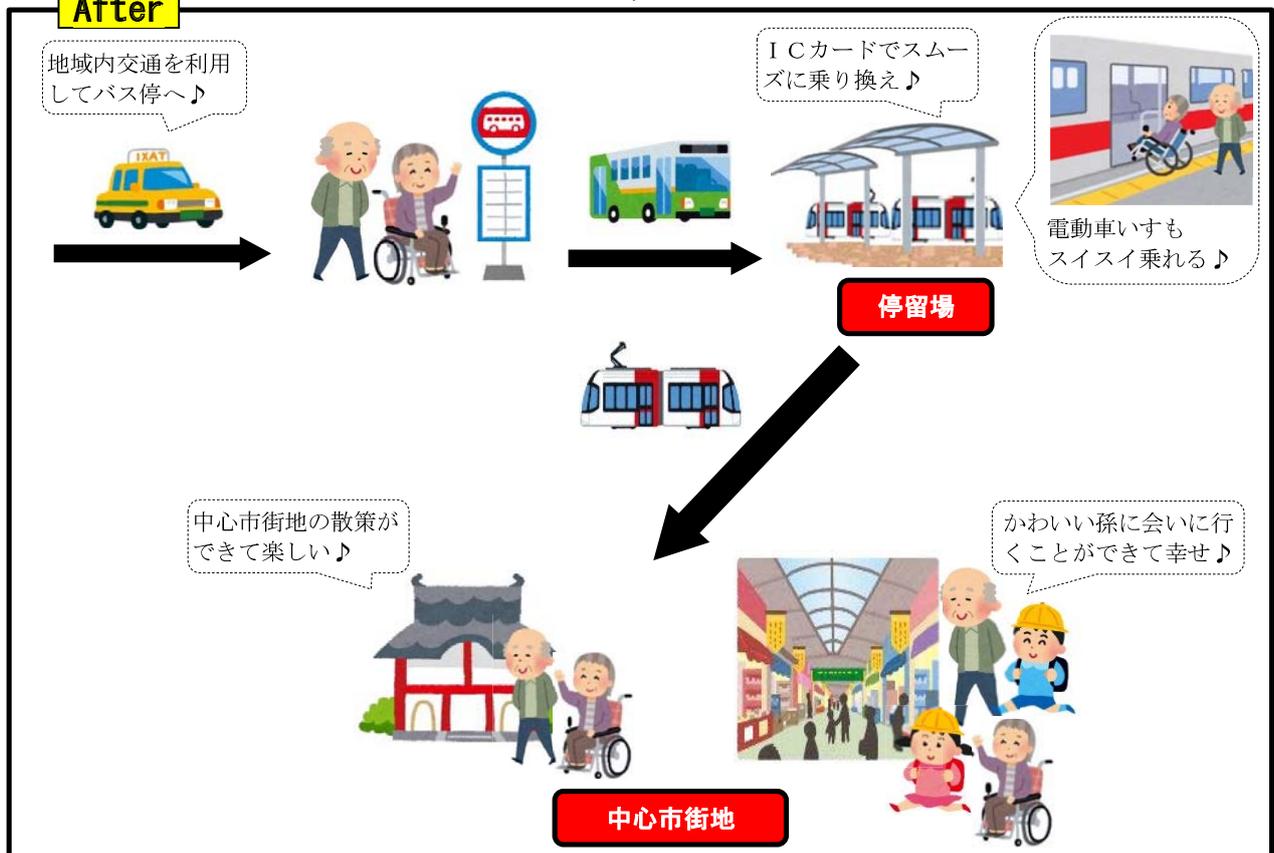
Before



・外出したくても便利な交通手段がないため、家からでない日々が続いている。



After



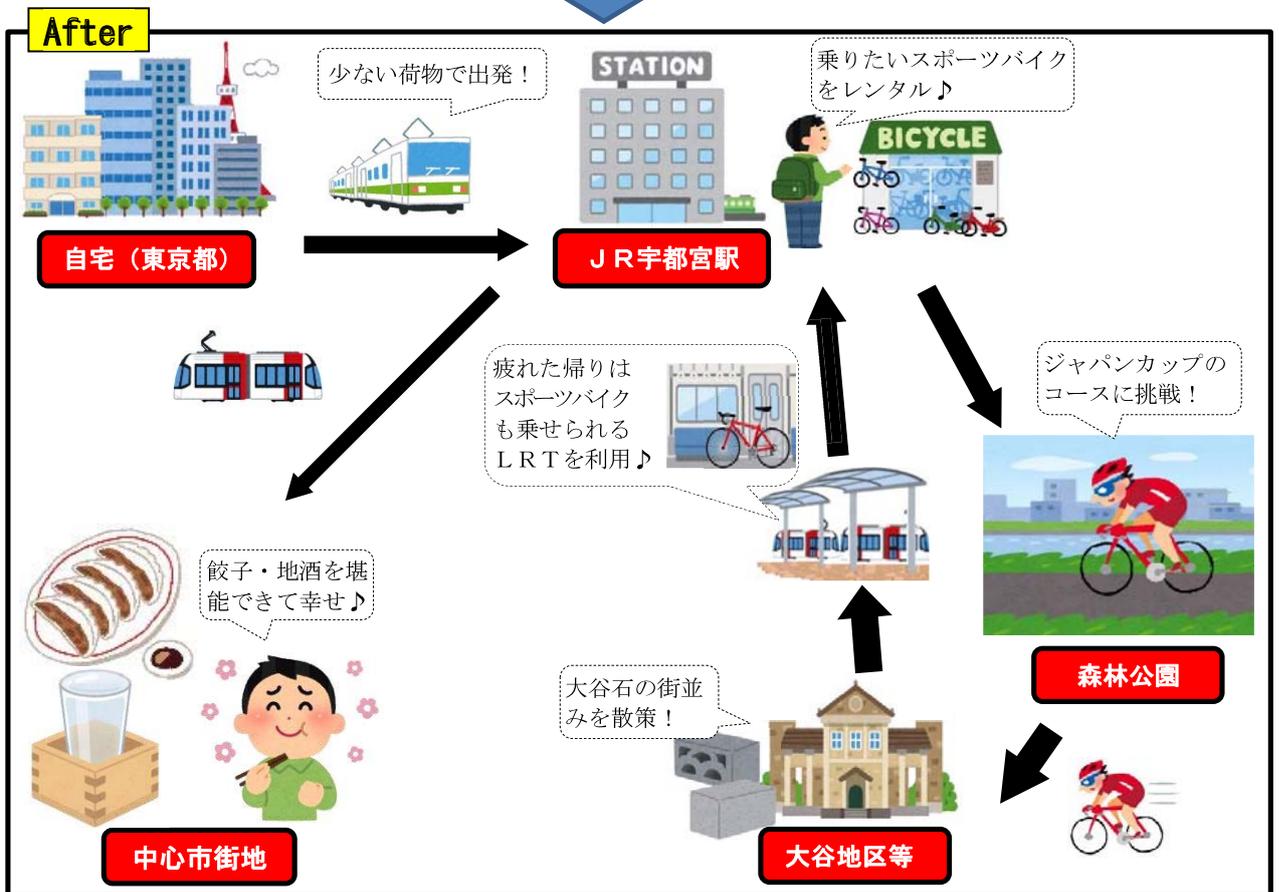
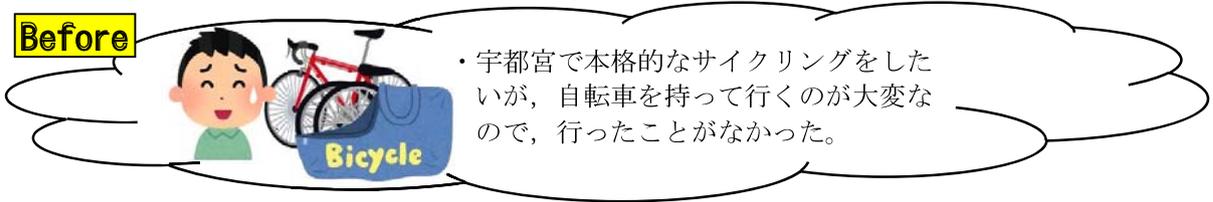
【日常生活のイメージ】

※ ICカード・・・施策事業の取組例

- ✓ 自動車の免許を返納したFさん夫妻は、地域内交通（ユニバーサルデザイン車両）とバス、LRTを便利に乗り継げるICカードを利用し、車いすに乗ったまま快適に移動ができる。
- ✓ 高齢者等地域活動支援ポイント事業でためたポイントをLRTに利用できることから、社会活動に参加する機会が増え、健康づくりや生きがいにつながっている。

➤ 来訪者①

東京都在住のHさん
 ・Hさん（30代男性 会社員）



【日常生活のイメージ】

※ ・・・施策事業の取組例

- ✓ 宇都宮でスポーツバイクをレンタルし、ジャパンカップのコースへの挑戦や大谷石で有名なスポット巡りなど、本格的なサイクリングを満喫している。
- ✓ LRTアプリを活用し、サイクリング後、スムーズにLRTに乗ることができ、宇都宮名物である「餃子」の食べ歩きをした。
- ✓ 今後は、宇都宮と東京など、2つの場所を行き来して充実した生活を楽しむ「ダブルプレイス」についても検討していく。

➤ 来訪者②

仙台市の会社に勤めるIさん
 ・Iさん（30代女性 会社員）

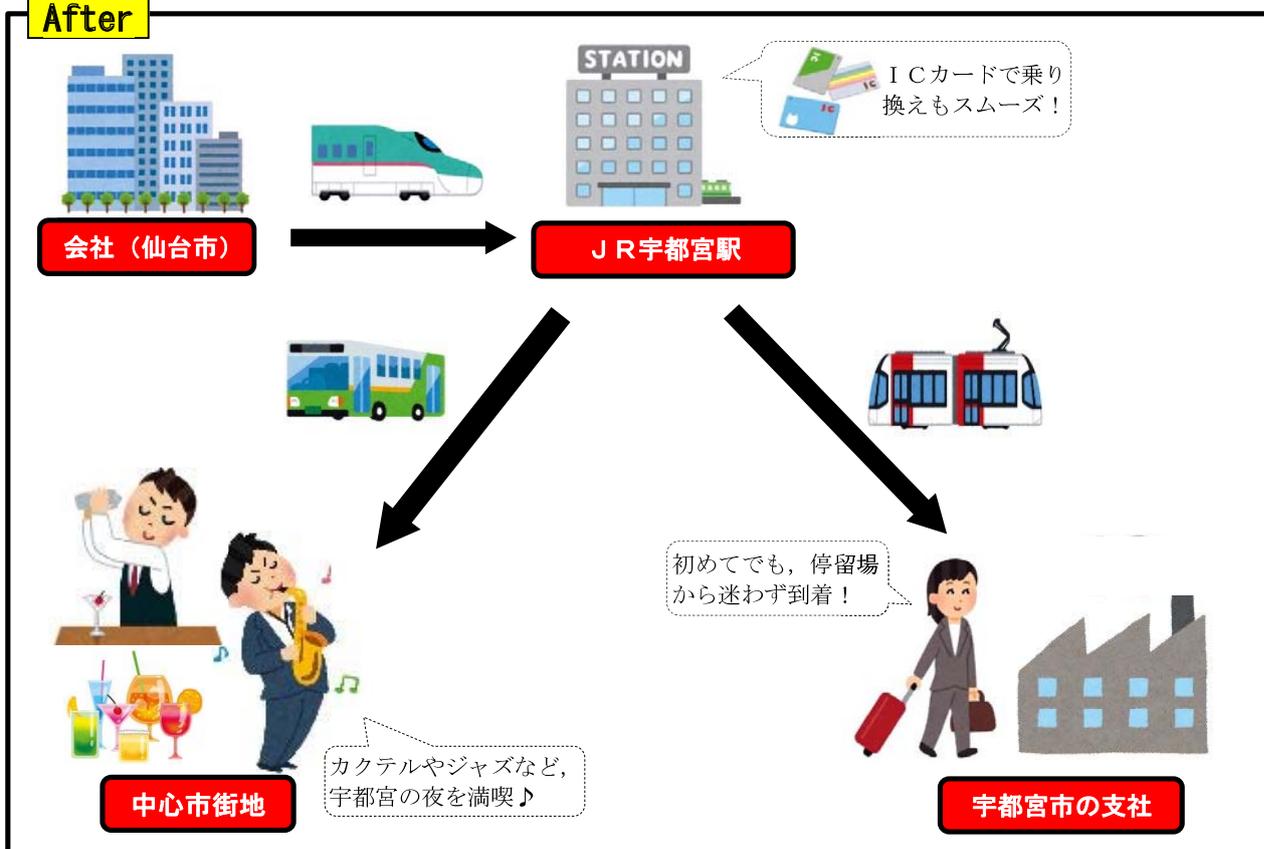
Before



・初めて宇都宮市の支社に行くが、駅からどのように行くか悩んでしまう。



After



【日常生活のイメージ】

※ ・・・施策事業の取組例

- ✓ 初めて訪れた宇都宮だったが、LRTへの乗車時も手持ちのICカードが使えるのでスムーズに乗り換えができ、停留場からも歩いて支社まで行けるため、迷わず到着することができた。
- ✓ LRTトランジットセンターでは、帝国ホテルなどでも使用された大谷石が使われており、柔らかみと温かみを感じられた。
- ✓ 仕事帰りには、支店に勤める友人と中心市街地に立ち寄り、宇都宮名物である「ジャズ」と「カクテル」を堪能し、宇都宮の夜を満喫した。

➤ 商店主

LRT沿線で飲食店を営むJさん
 ・ Jさん（40代女性 飲食店経営）

Before



・ 以前と比べ、街を行きかう人は増えたが、まちの賑わいがもっとほしい。



After

行きかう人が増え、街が活気づいている！

イベント列車で楽しく花火大会に行ける♪

LRTを利用した来店者が増えたため空き駐車スペースをオープンカフェに♪

観光パンフを見て周辺散策♪

【日常生活のイメージ】

※ ・・・施策事業の取組例

- ✓ LRT沿線観光パンフの配布やLRTのイベント列車運行などにより、お店周辺を行きかう人が増えるなど、今まで以上に街が活気づいている。

4 取組方針

2で掲げた「交通未来都市 うつのみや」像の3つの「心の状態」と「まち・生活の状態」目指すため、8つの分野における取組方針を定め、民間事業者との連携や参画を促しながら施策・事業を展開していきます。

① 保健・福祉分野

外出を契機に運動や社会参加が促進され、心身の健康が維持・向上し、生き生きと暮らせるまち

② 子育て・子育て分野

子育て世帯にやさしく、市民が安心して子育てしやすいまち

③ 教育・文化・スポーツ分野

次世代を担う子どもたちを育むとともに、歴史と文化が息づくまち

④ 産業・観光分野

人・モノ・情報等が活発に行き交い、企業や団体等の活動が活性化し、持続的に発展するまち

⑤ 都市基盤分野

美しいまちなみが形成され、魅力ある市街地と豊かな自然や農村などを公共交通で快適に移動できるコンパクトなまち

⑥ 環境分野

環境負荷を低減し、環境にやさしい持続可能なまち

⑦ 安全・安心分野

子どもから高齢者、障がい者、外国人など、誰もが快適に移動し、便利に暮らせ、交通事故ゼロの安全で安心なまち

⑧ LRTの利用促進分野

地域の経済活動や日常生活を活性化し、誰からも親しまれるLRT

5 具体的な施策・事業

①<<保健・福祉分野>>

外出を契機に運動や社会参加が促進され、心身の健康が維持・向上し、生き生きと暮らせるまち

○高齢者等への外出支援

No.	施策・事業名	実施時期	実施主体
1	・高齢者等地域活動支援ポイント事業からの活用	開業時	宇都宮市
2	・高齢者・障がい者への外出支援	開業時	宇都宮市
3	・バリアフリー対応マップの作成	開業時	宇都宮市

○医療福祉環境の整備

No.	施策・事業名	実施時期	実施主体
4	・【重点】トランジットセンター周辺等への医療・福祉,子育て支援,商業施設等の整備誘導	開業前～	宇都宮市 民間事業者
	・社会福祉施設の整備誘導	開業前～	宇都宮市 民間事業者

②<<子育て・子育て分野>>

子育てで世帯にやさしく、市民が安心して子育てしやすいまち

○子育て環境の整備

No.	施策・事業名	実施時期	実施主体
5,6	【重点】トランジットセンター周辺等への医療・福祉,子育て支援,商業施設等の整備誘導【再掲】	開業前～	宇都宮市 民間事業者
	・乳幼児の一時預かりを実施する民間施設への支援	開業前～	宇都宮市 民間事業者
	・教育・保育施設等を実施する民間施設への支援	開業前～	宇都宮市 民間事業者
7	・トランジットセンター等における赤ちゃんの駅の設置促進	開業時	宇都宮市 民間事業者

③<<教育・文化・スポーツ分野>>

次世代を担う子どもたちを育むとともに、歴史と文化が息づくまち

○学校規模の適正化

No.	施策・事業名	実施時期	実施主体
8	・L R T通学を可能とする通学区域の弾力化の検討	開業前	宇都宮市

○歴史・文化・スポーツの情報発信

No.	施策・事業名	実施時期	実施主体
9	・トランジットセンター等におけるまちなか文化・情報の発信	開業時	宇都宮市

○交通安全教育の実施

No.	施策・事業名	実施時期	実施主体
10	・【重点】公共交通に関する授業，交通安全教室の実施	開業前～	宇都宮市 民間事業者

④<<産業・観光分野>>

人・モノ・情報等が活発に行き交い、企業や団体等の活動が活性化し、持続的に発展するまち

○産業振興、雇用の創出

No.	施策・事業名	実施時期	実施主体
1 1	・L R T 関連施設等への大谷石の活用促進	開業時	宇都宮市
1 2	・トランジットセンター周辺における産業振興機能等の立地可能性調査の実施	開業前	宇都宮市
1 3	・車両基地の有効活用の検討	開業前	宇都宮市

○観光交流・都市ブランドの推進

No.	施策・事業名	実施時期	実施主体
1 4	・【重点】着地型観光・広域観光の推進（L R T と、スポーツや文化施設等の地域資源を活用した新たなツーリズムの創出）	開業時～	宇都宮市 民間事業者
1 5	・L R T 沿線に関連した観光パンフの作成	開業時	宇都宮市
1 6	・【重点】レンタサイクルの拡充による市内観光の促進	開業時～	宇都宮市
1 7	・トランジットセンター等におけるまちなか文化・情報の発信【再掲】	開業時	宇都宮市

⑤<<都市基盤分野>>

美しいまちなみが形成され、魅力ある市街地と豊かな自然や農村などを公共交通で
快適に移動できるコンパクトなまち

○L R T沿線の土地利用の促進

No.	施策・事業名	実施時期	実施主体
18	・【重点】立地適正化計画に基づく土地利用の推進	開業前～	宇都宮市
	・トランジットセンター周辺等への医療・福祉、子育て支援、商業施設等の整備誘導【再掲】	開業時	宇都宮市 民間事業者
	・L R T沿線への居住誘導の推進	開業時	宇都宮市 民間事業者
19	・J R宇都宮駅東口地区整備の推進	開業前～	宇都宮市
20	・J R宇都宮駅西口周辺地区整備の推進	開業後	宇都宮市
21	・自転車走行空間の整備	開業前～	宇都宮市

○魅力ある都市景観づくりの推進

No.	施策・事業名	実施時期	実施主体
22	・【重点】L R Tをシンボルとした都市デザインの推進（トータルデザイン方針の策定とその活用など）	開業前～	宇都宮市
23	・J R宇都宮駅西口周辺地区整備に伴う景観形成	開業後	宇都宮市

○公共交通利用環境の整備

No.	施策・事業名	実施時期	実施主体
24	・【重点】宇都宮東部地域におけるバスネットワークの再編	開業前	宇都宮市 民間事業者
25	・【重点】交通ICカードの導入支援	開業前	宇都宮市
26	・地域内交通の導入促進	開業前	宇都宮市

○交通結節点の利便性向上

No.	施策・事業名	実施時期	実施主体
27	・交通結節点への駐輪場の整備	開業前～	宇都宮市

⑥<<環境分野>>

環境負荷を低減し，環境にやさしい持続可能なまち

○CO2削減効果を活かした歳入の確保

No.	施策・事業名	実施時期	実施主体
28	・ Jクレジット制度を活用したクレジットの創出・販売	開業時	宇都宮市

○拠点における低炭素化の促進

No.	施策・事業名	実施時期	実施主体
29	・ 【重点】トランジットセンター周辺等における低炭素化の促進	開業前～	宇都宮市 民間事業者

○交通の低炭素化の促進

No.	施策・事業名	実施時期	実施主体
30	・ 低炭素型モビリティ（電気自動車等）の利活用方策の検討	開業前	宇都宮市 民間事業者

⑦<<安全・安心分野>>

子どもから高齢者，障がい者，外国人など，誰もが快適に移動し，便利に暮らせ，交通事故ゼロの安全で安心なまち

○公共交通・交通安全教育の実施

No.	施策・事業名	実施時期	実施主体
31	・ 【重点】公共交通に関する授業，交通安全教室の実施【再掲】	開業前～	宇都宮市 民間事業者

⑧<<L R Tの利用促進分野>>

地域の経済活動や日常生活を活性化し、誰からも親しまれるL R T

○L R Tの利用促進

No.	施策・事業名	実施時期	実施主体
32	・【重点】モビリティマネジメントの実施 (地域住民・高齢者・企業従業員・児童生徒等と対象とした公共交通の利用促進)	開業前～	宇都宮市 民間事業者

○L R Tの魅力向上

No.	施策・事業名	実施時期	実施主体
33	・イベント列車・ラッピング車両の運行 (お花見, 花火大会, イルミネーション, ジャズ, など)	開業時～	宇都宮市 民間事業者
34	・各種イベント, コンテストの開催 (スタンプラリー, フォトコンテスト, マスコットキャラクター・テーマソングの作成など)	開業時～	宇都宮市 民間事業者
35	・各種割引等の実施(公共交通利用者に対する支援)	開業時	宇都宮市 民間事業者
36	・L R T便利アプリの導入	開業時	宇都宮市 民間事業者

<歳入確保>

No.	施策・事業名	実施時期	実施主体
37	・ふるさと納税謝礼品へのL R T関連物品の追加	開業時～	宇都宮市 民間事業者
38	・デジタルサイネージを活用した車内や電停等における広告事業	開業前	宇都宮市 民間事業者

6 LRT利活用方策の着実な推進に向けて

「5 具体的な施策・事業」に掲げた取組については、今後、具体的な検討を進め、総合計画実施計画や予算編成を通じてその実現を目指してまいります。

また、「LRT活用まちづくり推進委員会」において、引き続き、新たな利活用方策を検討してまいります。

【今後の主な検討項目】

- ICカード活用方策の検討（健康増進，中心市街地活性化など）
- トランジットセンター周辺等における行政機能の検討
- LRT整備を契機とした産業振興方策の検討
- 民間と連携した新たな事業の検討（施設見学など）

◆LRT整備事業の概要

宇都宮市・芳賀町

事業概要	
営業キロ	約15km〔複線〕 ※全体計画における優先整備区間 JR宇都宮駅東口(宇都宮市)～本田技研北門(芳賀町) 自動車交通との併用区間 : 約9.4km LRVのみが走行する専用区間: 約5.1km
停留場数	19箇所(100%バリアフリー)
低床式車両(LRV)	17編成(3車体連接, 全長: 約30m, 定員: 155人)
事業方式	公設型上下分離方式
軌道運送事業者 (営業主体: 上)	宇都宮ライトレール株式会社(平成27年11月9日設立) ※宇都宮市, 芳賀町, 地元経済界, 交通事業者等が出資する官民連携による新会社
軌道整備事業者 (整備主体: 下)	宇都宮市, 芳賀町
概算事業費	約458億円 (宇都宮市域: 約412億円, 芳賀町域: 約46億円)
着工・開業(予定)	着工: 平成28年度, 開業: 平成31年度
関連事業	・交通結節機能の強化(トランジットセンターの整備等) ・バスネットワークの再編, 地域内交通の導入 ・交通ICカードの導入 など

運行計画	
運転時間帯	6時台～23時台
所要時間	約44分(快速運行の場合 約37分～38分)
運転最高速度	40km/h
需要予測(平日)	約16,300人/日
ピーク時最大断面	1,885人/時・片方向
運行間隔	ピーク時 : 6分間隔(10本/時) オフピーク時: 10分間隔(6本/時)
運賃	初乗り150円～400円(対距離制)
運賃收受方法	ワンマン運転(交通ICカード主体)



宇都宮テクノポリスセンター地区
面積: 177.2㌥
計画人口: 1万3千人



栃木県グリーンスタジアム
収容人員 約1万5千人



清原球場 収容人員 約3万人





清原工業団地

【総面積】387.6ヘクタール

【企業数】34社

【従業者数】約10,000人

【出荷額等】約1兆1,800億円

【特色】

内陸型の工業団地としては国内最大級、工場敷地区画が広く宇都宮テクノポリスの中心的工業団地として、高度技術に立脚した企業誘致が図られている。

【主な立地企業】

キヤノン(株)、カルビー(株)、中外製薬工業(株)、日本たばこ産業(株)、エム・イー・エム・シー(株)、清原住電(株)、大徳食品(株)、住友ベークライト(株)、デュポン(株)、マニー(株) ほか



芳賀工業団地, 芳賀・高根沢工業団地

【総面積】474.8ヘクタール

【企業数】102社

【従業者数】約22,000人

【出荷額等】約1,700億円

【特色】

芳賀工業団地、芳賀・高根沢工業団地ともに、高度な技術を有する企業や研究拠点などが立地し、「新栃木県産業集積活性化基本計画」において、特に重点的に企業立地を図るべき区域として指定されている。

【主な立地企業】

(株)本田技術研究所、本田技研工業(株)、ホンダエンジニアリング(株)、(株)ホンダテクノフォート、(株)オートテックジャパン、(株)リブドゥコーポレーション、ホンダ開発(株)、山王テック(株)、(株)ショーワ ほか